

やさい 『やさいのはな なんのはな？』



みやざきしょうこ こうせい ぶん あみのふみ え しやしん いわさきしよてん
宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真 岩崎書店

きつと、やさいがすきになる

ひょうし しやしん しろ はな まる はな はな なん
表紙の写真の白くて花たばのような丸い花は、あるやさいの花です。何の
やさいか分かりますか？ 答えは、たまねぎです。やさいと、その花では、見た
め目がちがって、ビックリした人も多いのではないのでしょうか？

ほか きいろ ほし かたち はな はな しろ はな はな
他にも、黄色い星の形の花や、ラッパみたいなむらさきの花、白い花びらがたくさんある花など、
やさいからはそうぞうできないようなきれいな花がさくようですよ。

そして、やさいは、植物のどの部分を食べているのかを知ることができます。実や、
根っこ、葉っぱ、一体どの部分を食べているのでしょうか？

やさいが苦手な人も、この本を読んでいろんなやさいのことを知ると、おいしく食べ
ることができるようになるかもしれませんよ。

しょくひん 『どうやってできるの？チョコレート』

たむらこうすけ たてわきたく しやしん
田村孝介・立脇卓/写真 ひさかたチャイルド

チョコレートのひみつ、知っていますか？

あまくて、おいしい、チョコレート。だいすきな人も多いと思いますが、チョコレートは何からできて
いるのか知っていますか？遠くて、暑い、南の国にある、カカオという木の実からつくられるそうで
す。カカオの実の中には、カカオ豆とよばれるたねが入っています。たねは、白いねばねばしたわ
たのようなものにつつまれているのですが、それをかわかしたものが、日本に運ばれてきます。

そして、工場で、皮をむいたり、すりつぶしたりしていくうちに、とろりとしたなめらかなチョコレー
トになっていきます。このチョコレートが、板チョコになるまでには、あと少し
作業がひつようなようです。本を読んでたしかめてみてくださいね。

チョコレートが何度もすがたをかえていく様子の写真がたくさんのもって
いて、見ているだけで楽しい本ですよ。



やわたしりつやわたしようがっこうとしょしつ
八幡市立八幡小学校図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
(1年生～3年生用)



れいわ ねん がつ にちはるごう
令和7年5月21日春号



たの ほん 楽しい本いっぱいあるよ

4月から新学期が始まり、もうすぐ2か月ですね。1年生は、もう図書室のつかいか
たをおぼえましたか？2年生・3年生は、新しい本の読書にちょうせんしていますか？
今年から、毎日、朝読書も始まりましたので、いろんな本を読んでみてくださいね。
今回の「ほんのおたより」では、読むと楽しい気持ちになる本をしょうかいします。

気になる本があったら、図書室にかりに来てくださいね。



えほん 『はるがきた』 ジーン・ジオン/文 マーガレット・ブロイ・グレアム/絵

こみやゆう/訳 主婦の友社

たの ほん 楽しいアイデアで春がやってきた！



もうすぐ春がやってくるはずなのに、まちは、はい色で、木もかれ
えだなので、まちの人たちも、「春はまだやってこないのかしら？」
と、くらい気持ちになっていました。

そんな時に、ある男の子が、「どうして春を待ってなきゃいけないの？待ってなんか
いないでさ、ぼくたちでまちを春にしようよ。」と、いいアイデアを思いついたようです。
そのアイデアに、まちの人たちもきょう力して、すてきな春をむかえたようですよ。

えほん 『しりとりのだいすきなおうさま』



なかむらしょうこ さく 中村翔子/作 はたこうしろう/絵 えずき出版

いっしょにしりとりにやってみよう！

みなさんは、しりとりは好きですか？このえほんに出てくる王さまは、とっでもしりとりがだいすきで、なんでもしりとりのじゅんばんにならんでいないと、気がすみません。

たとえば、りょう理だと、「サンドイッチ」、「ちくわ」、「わかめ」、「めだまやき」のよ
うに、しりとりのじゅんばんに、次から次にりょう理をつくって出さないといけ
ないので、コックさんたちは大いそがしです。しかも、さい後は、王さまがだいすきな「プリン」
でおわらないといけません。ところが、とちゅうで、「ラーメン」を出してしまい、「ん」
がついたので、しりとりがおわってしまい、王さまはおこって大あばれです。

そんな王さまを見たコックさんたちは、あるさくせんを思いついたようです。そのさく
せんとは、一体どんなさくせんなののでしょうか？

えほん 『ぼくだけが知っている ヘンテコなきかいのしくみ』

おおくし 大串ゆうじ/作・絵 さく え ガッ ケン Gakken

そうぞうするって、たのしいね

このえほんに出てくる男の子は、家の中にあるきかいのひみつを知っています。

たとえば、えんぴつけずりの中には、おさむらいさんがいて、刀をつかって、ものす
ごいはやさで、えんぴつをけずってくれているようですよ。ごはんをたくすいはんきの中
では、赤おにさんがプンプンおこっていて、そのおこったねつで、
ごはんをたいているそうです。

絵がとっても面白くて、細かくかかれていますので、１ページずつ
じっくり見てみてくださいね。絵本にでてこないきかいの中をそう
ぞうしてみるのも楽しそうですね。



ものがたり 『おいかけっこのひみつ しましまとたてがみ』

いとうひろし/作 さく ポプラ社 しゃ

どうなっちゃうのかな？

あし はや 足が速くて、ちい 小さな動物をおいかけのがだいすきなライオンと、あし
はや 速くて、だれにもつかまらないシマウマがおいかけっこを始めました。
にげて、おいかけて、にげて、おいかけて…、しばらく走った後、お
どろくことがおきました。

シマウマの体にあるしましまもようが消えてしまったのです。そして、そのしましま
は、ライオンの体にくっついてしまいました。さて、どうすれば、しましまは元にもど
るのでしょうか？

しましまのないシマウマと、しましまのあるライオンは、見た目がかわったことで、
おたがいの気持ちに気づくこともあったようですよ。

ものがたり 『だれもしらない小さな家』

エリナー・クライマー/作 さく こみやゆう やく 小宮由/訳 さたけ み ほ え 佐竹美保/絵 いわなみしよてん 岩波書店

さいごのさいごまで読んでみて！

ある町に、2つの大きなビルにはさまれた小さな家がありました。その家にはだれも住
んでいませんでした。アリスと、ジェーンという2人の女の子は、この家のことが気にな
って、よくまどから家の中をのぞいていました。

ある日、2人は、思いきって、ドアノブを回してみると、ドアがあいていたのです。
はじめて家に入ってみると、小さな家は子どもの2人にはぴったりの大きさと、とても気
に入りました。

そこで、家のそうじをし、木の箱をテーブルに、クッションをベッド
に見立てておままごとを始めました。そこに、手作りのクッキーを持っ
たオブライアンさんというおばあさんがやってきて…。

さい後には、とても幸せな気持ちになる物語です。

